

= アクセサリーに加工 =



※ 丸カンは左右に広げず、前後に開くように！

図の順番で、各パーツを丸カンで連結する。
さらに、パフェ側の9ピンと連結する。



完成図

= 作品を長持ちさせるために =

作品にニス塗ると、よごれがつきにくくなり、
また水にも強くなります。

作品がしっかりと乾燥してから、筆でニスを塗ります。
ホイップクリーム部分にもニスをぬることができます。



● ニスは、1度に厚く塗らないことがコツです。「薄く塗って乾燥」を3回位繰り返すと、美しい保護膜に仕上がります。また、時々筆をうすめ液で洗いながら作業すると、ニスの「伸び」がよくなり、ムラなくニスを塗ることができます。

● ニスには、「つや出しニス」と「つや消しニス」があります。お好みに応じて使い分けて下さい。

= 粘土の接着性について =

粘土と粘土は、一方が乾いていなければ、接着剤なしでも良くくっつきます
しかし、粘土自体に接着性はありませんので、粘土で作った作品に9ピン、ラインストーン、市販のパーツなど、金属製やプラスチック製のものを接着する際には、接着剤をつけてから取り付けます。

もしも接着剤でつけた部分がとれてしまった場合には、再度、接着剤をつけて取り付けます。

ストロベリーパフェ レシピ

日清製粉グループ 日清アソシエイツ(株)

<http://nisshin-nendo.hobby.life.co.jp>

1. 材料 (いずれも紙粘土ではありません)

① グレイス軽量タイプ

(パフェ本体、アイス部分)

コーンスターチを原料としたきめが細かく、弾力性に優れた軽量粘土です。



② グレイスカラーStick (イチゴ、ストロベリーチョコ)

粘土を着色するための
カラー粘土です。



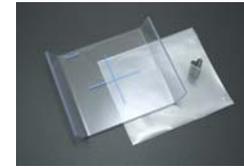
③ グレイスホイップタイプ ソフト

粘土のホイップクリームなので安全です。
クリームに弾力性があり、
ひび割れしません。

2. 道具



- ① はさみ
- ② 歯ブラシ
(毛先がかためのもの)
- ③ つまようじ



- ④ ミニプレス
- ⑤ 抜き型 (ハート)



- ⑥ 接着剤
※金属の接着が可能なもの



- ⑦ やっとこ、またはラジオペンチ

3. アクセサリー加工用品



- ・ストラップ金具
- ・ハートチェーン (長いチェーンをほぐして使用)
- ・9ピン/0.7mm×15mm (1本)
- ・丸カン/1.0mm×5mm (2個)

＝ トッピングをつくる (イチゴ、アイス、ストロベリーチョコ) ＝



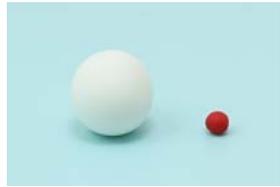
①グレイスカラー (赤) でイチゴの形をつくる



②つまようじで穴をあける



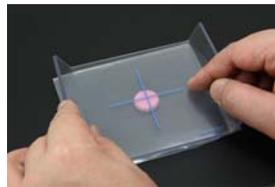
③イチゴ完成
※同じものを2個つくる



④グレイスカラー (白) に、少量のグレイスカラー (赤) を混ぜる



⑤均一になるまで混ぜ、丸める



⑥ミニプレスで、丸めた粘土をつぶす (厚さ1~2mm)



⑦うすくつぶした状態の円板状の粘土



⑧抜き型でぬく
※抜き型にベビーパウダーを少しつけておくと、抜いた後に粘土が離れやすい



⑨ストロベリーチョコ完成



⑩アイスの大きさの粘土をとり、半分にわける



⑪一方にグレイスカラー (赤) を少量まぜ、着色する



⑫2色を混ぜ、マーブル状にした後、丸める



⑬アイスの形に整える



⑭歯ブラシで表面をこすり、ボサボサ感をだす。



⑮つまようじで、はみだし部分をつくり、アイス完成

＝ パフェグラスをつくる ＝



①パフェグラスのサイズの粘土をとり、マーブル状にする



②パフェグラスの底に、接着剤を少量つける



③マーブル状にした粘土をパフェグラスにつめる

＝ ホイップ (粘土) をしぼる ＝



①口金をセットした絞り袋の中に、グレイスホイップタイプソフトを入れる



②粘土を絞り袋の中でよくもみほぐす
※ドライヤー等であたためると、やわらかくなるので、もみほぐしやすくなります



③絞り袋の先端をハサミでカットする



④パフェグラスにホイップを絞る



⑤トッピングを配置する



⑥ホイップが乾いたら、接着剤をつけた9ピンを刺す